

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

### 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	救命救急センターにおける早期栄養介入後に継続的な栄養管理が必要な食事摂取脳梗塞患者の臨床的特徴
研究責任者（所属名）	安藤翔治（嬉野医療センター栄養管理室）
本研究の目的	脳梗塞の患者さんは低栄養になるリスクが高いため、救命救急センターでは専任の管理栄養士が早期から栄養管理を行っています。その後、病状が安定すると他の病棟に移りますが、この際に継続した栄養管理が必要な患者さんの特徴を把握することで、他の病棟でも適切な栄養管理を続けることができます。そこで、救命救急センターにて早期栄養管理を実施後に継続的な栄養管理が必要な食事摂取可能な脳梗塞患者さんの臨床的特徴を調査するために、後ろ向き研究を行います。
調査データの該当期間	2022年4月 から 2024年7月まで
研究の方法 （使用する試料等）	対象：嬉野医療センター救命救急センターに入院し、48時間以内に食事を経口摂取し、早期栄養介入管理を実施した18歳以上の脳梗塞の患者さん 除外基準：1. 救命救急センター退室時に嚥下調整食を提供、2. 入院中にたんぱく調整食を提供、3. 入院中に経管栄養管理へ変更、4. 入院中に脳梗塞の外科的治療、5. 高度栄養不良、6. 死亡退院、いずれかを有する患者さん 使用する試料：診療録から以下を調査します。 年齢、性別、体重、体重、疾患、併存疾患、治療内容、食事内容、栄養摂取量、栄養状態、身体機能、口腔状態、介入した医療職、意識レベル、血算・生化学検査値、在院日数、救命救急センター在室日数、転帰
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	